

者アリ、千瓣ニシテ實ヲ結バズ、又一種白花ナル者、野生稀ナリ、葉長大、花モ亦大ナリ、莖ノ高サ一
二尺ニ至ル、一種綠花ノ者ハ極メテ稀ナリ、花萬葉ニシテ綠色實ヲ結バズ、苗ノ形ハ尋常ノ者ニ
同ジ、一種ムラサキタンポポト呼ブアリ、一名ヤリグサ、勢州センボンヤリ、加州山中陰地ニ生ズ、
葉ハ濶ク厚シテ尖リナク、背ニ白毛アリ、花小クシテ淺紫色、又内淺紫、外紫赤色、又白花ノモノア
リ、花後褐絮ヲナシ、帚形ノ如シ、莖ニ白毛アリ、是集解ニ謂ユル大丁草、一名燒金草ナリ、

〔農業全書四〕蒲公英

たんは、は秋苗を生じ、四月に花さく、黄白の二種あり、花は菊に似て、あひらしき物なり、夏たね
を取をき、正月蒔て苗にして、移しうゆるもよし、山野にをのづから生るを苗にするもよし、味少
苦甘く、料理に用ゆる時、葉をとりて茹き、ひたし物、あへ物、汁などに、料理してよし、是を食すれば、
大用の秘結をよく治するなり、圃の廻り菜園の端々、多少によらず、かならずうゆべし、食毒を解
し、氣を散し、婦人の乳癰を治す、

〔宜禁本草五〕蒲公草 甘平無毒、主婦人乳腫、煮汁飯及封之立消、堪生食、産後不自乳兒汁積結癰、

擣傳腫上、日三四度易之、一名地丁、解食毒、散滯氣、治疔腫、有奇功、

母子草

〔新撰字鏡〕菴蘆子 懸菴使菌殖、又大蓬、比支與毛支、

〔本草和名〕菴蘆子 菴、楊玄操、上音、下音、和、 和名比岐與毛岐、一名波々古。

〔倭名類聚抄〕菴蘆子 本草云、菴蘆子、上音、淹、和、名波々古、

〔箋注倭名類聚抄〕本草和名云、菴蘆子和名比岐與毛岐、一名波々古、馬先蒿和名波々古、久佐、茵
陳蒿和名比岐與毛岐、蓋輔仁不能詳定、三草皆同訓、源君菴蘆子訓波々古、馬先蒿茵陳蒿並訓比
岐與毛岐、蓋以釋藥性云、茵陳蒿一名馬先也、然波々古即比岐與毛岐之一名、則源君分訓波々古
比岐與毛岐、非是、又本草菴蘆子、馬先蒿茵陳蒿、各自爲條、則三草其實不同、以馬先蒿茵陳蒿同爲